

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	志村 充康	学校名	埼玉県狭山市立水富小学校
実施学年	6年	教科	社会
単元名	子育て支援の願いを実現する政治／震災復興の願いを実現する政治（選択単元）		

《学びを深めたいポイント》

本実践は、政治単元の最後の学習活動である。児童自身が教科書に掲載されている公園開発を題材として、まちづくり及び選挙に関心を持つことをめあてとしている。実践を通し、社会参画への意欲を促す主権者教育の視点を取り入れており、学んだ知識や技能を生かして自分の生活に生かす、主体的に学びに向かう態度の育成を図っていく。

活動の中で、自分が有権者だったらどのような公園を作ってほしいか、どちらの立候補者に投票するかを考える上で、どちらの立候補者の方がより多くの市民の声を生かしているか、公園開発を通してどのようなまちづくりをしてほしいか、財源はどのように確保するかなど、学習のまとめとして、ここまでの学習をふりかえることができるようにした。個人での考える時間の確保及び ICT を活用した効率的な集団的思考を進め、学びを深めていく。

《SKYMENU 活用のポイント》

ポジショニング機能と発表ノートを活用していく。

授業の導入では運動場が豊富な公園、ドッグランができる公園、森林がたくさんある公園、災害時に役立つ防災公園など様々な公園の事例を紹介し、ポジショニング機能を使い、自分だったらどのような公園を作ってほしいかの意識調査を行う。ポジショニングによる可視化で、考えは多様であることを視覚的にも認識してもらう。

展開1の個人思考の段階では発表ノートを活用する。仮想の立候補者 2 人の公園開発に伴うまちづくりの姿勢を、発表ノートに事前に背景として取り込んでおく。それぞれに対する賛成や反対、疑問点などを記入する枠だけを作成しておき、児童がどこに何を書けばいいか困らないようにしておく。配布・提出機能による提出で、一人一人が立候補者に対してどのような考えを持ったかを把握することで、評価していく。

展開2の集団思考に移る前に、もう一度ポジショニングを使い、どちらの立候補者に投票しようと考えているかの意識調査を行う。そこで自分と同じ意見や反対の意見の人を見つけ、集団思考での話し合いを様々な考えの人と話し合ってもらい、学びを深めていく。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	<p>1 学習問題・本時のめあての確認</p> <p>・学校のそばの林が公園になるとしたら、どのような公園になってほしいか、人々の願いを知り、自分だったらどのような公園にしたいか考える。</p>	<p>【どんな公園を作ってほしいかのポジショニング】</p>	<p>○ポジショニングを活用することで、どのような公園にしたいかという願いが多様であることを視覚的に理解する。</p>
<p>課題 模擬選挙を通して、まちづくりに対する関心を高めよう。</p>			
展開	<p>2 模擬選挙の立候補者の公園開発への考えを知る。</p> <p>・公園づくりが争点となった模擬市長選挙に対して、自分の考えをもつ。</p> <p>3 それぞれの候補者への賛成点や疑問点を記入したあと、自分だったらどちらに投票するか、意識調査を行う。</p> <p>4 児童間でお互いの考えを交流し合う。</p>	<p>【児童の意見の例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">候補者① 狭山 太郎</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの災害に備え、林の土地をすべて防災公園にする。 ・ふだんはドッグランや運動ができる広場にする。 ・工事費や完成後の管理費が高くなるので、公園を使うときは使用料をはらってもらおう。 ・さらに住民税を上げて財源を確保する。 </div> <div style="width: 45%;"> <p style="font-size: small;">この公約に対するあなたの意見 賛成・反対・疑問など</p> <p>防災公園にするのはいいが、すべて変えてしまうと公園の意味がなくなってしまうので、子供やお年寄りに優しい公園にしてほしい。</p> </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">候補者② 水富 一郎</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保護のために林の一部を残し、遊具が多い子供が遊べる公園にする。 ・スロープやベンチを設置し、老人にも来てもらいやすい公園にする。 ・財源は国からの補助金を考えている。 ・財源が足りないときは住民税を上げる。 </div> <div style="width: 45%;"> <p style="font-size: small;">この公約に対するあなたの意見 賛成・反対・疑問など</p> <p>反対(心配)</p> <p>環境保護したり、バリアフリーなのはいいと思うが、財源がはっきりしてないのと、もう少し市民が楽しめるような公園にしてほしい。</p> </div> </div> </div> <p>【どちらに投票しようと考えているかのポジショニング】</p> <p>【違う意見の交流の例】</p>	<p>○安全を意識したまちづくり、環境に配慮したまちづくり、財源の確保や税金の問題などを考える視点として、自分なら公園開発からどのような町にしたいか、自分の意見を発表ノートに記入する。</p> <p>○発表ノートの形式をそろえ、背景化したことで書き込む場所を一つにして作業に困らないようにする。</p> <p>○ポジショニングを活用し、本当の選挙同様、中間意識調査を行い、自分の考えに近い児童、反対の児童、迷っている児童を可視化する。</p> <p>○OGIGA 端末をタブレットモードにして、発表ノートをお互いに見せ合う。ここではあえ</p>

	<p>・自分と同じ意見、自分とは違う意見で2回の考えの交流を行う。</p>	<div style="text-align: center; background-color: #ffffcc; padding: 5px;">候補者① 狭山 太郎</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; background-color: #00b0f0; color: white; padding: 5px;"> <p>・これからの災害に備え、林の土地をすべて防災公園にする。</p> <p>・ふだんはドッグランや運動ができる広場にする。</p> <p>・工事費や完成後の管理費が高くなるので、公園を使うときは使用料をはらってもらう。</p> <p>・さらに住民税を上げて財源を確保する。</p> </div> <div style="width: 45%; background-color: #d9ead3; padding: 5px;"> <p>この方針に対するあなたの意見 賛成・反対・保留など</p> <p style="text-align: center;">公園の使用料を取らないでほしい 環境のことを考えてて少しは残してほしい</p> </div> </div> <div style="text-align: center; background-color: #f1c40f; padding: 5px; margin: 10px 0;">反対</div> <div style="text-align: center; background-color: #ffffcc; padding: 5px;">候補者① 狭山 太郎</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; background-color: #00b0f0; color: white; padding: 5px;"> <p>・これからの災害に備え、林の土地をすべて防災公園にする。</p> <p>・ふだんはドッグランや運動ができる広場にする。</p> <p>・工事費や完成後の管理費が高くなるので、公園を使うときは使用料をはらってもらう。</p> <p>・さらに住民税を上げて財源を確保する。</p> </div> <div style="width: 45%; background-color: #d9ead3; padding: 5px;"> <p>この方針に対するあなたの意見 賛成・反対・保留など</p> <p style="text-align: center;">防災公園にするに賛成です</p> </div> </div>	<p>て発表ノートのグループ化をしないで、画面上のやりとりではなく対面での会話を重視する。</p>
<p>まとめ</p>	<p>5 模擬選挙を行い、自分の考えを主体的に表現するとともに、本時のふりかえりをする。</p>	<div style="background-color: #d9ead3; padding: 10px;"> <p>【Microsoft forms アンケートの活用】</p> <p>3. 投票する候補者 * <input type="checkbox"/></p> <p><input type="radio"/> 狭山 太郎</p> <p><input type="radio"/> 水富 一郎</p> <p><input type="radio"/> どちらにも投票しない (棄権する)</p> <p>4. 今日の授業のまとめ、ふりかえり (感想) を入力 * <input type="checkbox"/></p> <p>回答を入力してください</p> <p style="text-align: center; background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">送信</p> </div>	

《実践を振り返って》



今回、模擬選挙を行うという意欲付け、公園という身近なものを題材としたので児童はとても意欲的かつ主体的に参加できた。選挙とは単純に「いい、悪い」だけでなく、様々な視点で考えなければならないこと、自分の考えに一番近い人を選ぶことの難しさなどを実感でき、主権者教育の視点も取り入れることができたと思う。

Sky メニューの活用では、ポジショニングで児童の意識の可視化が図れ、児童の思考にゆさぶりをかける有効な声掛けや発問ができた。たとえば2回目のポジショニングでは狭山太郎の方が劣勢だったため、水富一郎の公約の疑問点を書いていた児童の意見を取り上げ、安全を配慮した防災公園がない場合の災害時への備えを何も述べていないなど、市長候補としての責任に気づかせたりなどである。

また発表ノートのおかげでワークシートの作成や回収がとても容易となり、授業後落ち着いて意見を確認することができた。授業のまとめは模擬選挙を実施したかったため、Microsoft forms を活用したが、Excel ファイルで集約することもできたので成績への転記も容易となった。